

# 令和5年度 愛媛から「体験の風をおこそう」運動推進事業

## 親子でアウトドア カヌー編

### 1 ねらい

体験活動を通して、自然の素晴らしさ・体験活動の楽しさを実感する。親子のふれあいや参加者相互のふれあいを通して、豊かな心を育む。「体験の風をおこそう」運動・「早寝早起き朝ごはん」国民運動を推進する。

### 2 実施日

親子でアウトドア①（ツーリング版）	9月 3日（日）	【一日】
親子でアウトドア②（平水版）	9月24日（日）	【午前】
親子でアウトドア③（平水版）	9月24日（日）	【午後】



### 3 日程

9月3日（日）①ツーリング版		9月24日（日）②平水版③平水版			荒天時プログラム		
日程	内容	②平水版	③平水版	内容	②平水版	③平水版	内容
9:00	受付・更衣	8:40	13:10	受付開始	8:40	13:10	受付開始
9:30	開講式・仲間づくり	9:00	13:30	開講式・説明	9:00	13:30	開講式
10:30	カヌー体験	9:30	14:00	移動	9:20	13:50	ニュースポーツ（その1）
12:00	昼食・休憩	9:50	14:20	カヌー体験（平水版）	10:50	15:20	ニュースポーツ（その2）
13:30	ツーリング（約5Km）	11:40	16:10	移動	12:20	16:50	閉講式
16:30	閉講式	12:00	16:30	閉講式	12:30	17:00	解散
17:00	更衣・解散	12:15	16:45	解散			

### 4 活動場所

国立大洲青少年交流の家（愛媛県大洲市） 大洲市肱川（緑地公園他）

### 5 参加対象・募集人数

小学3～6年生とその保護者（親子等）・各回25組（50名程度）

### 6 参加者数

9月3日（日）①ツーリング版	9月24日（日）②平水版	9月24日（日）③平水版
参加数：26組 58人	参加数：20組 49人	参加数：21組 48人
申込数：141組 301人	申込数：92組 199人	申込数：57組 125人

### 7 活動内容と参加者の様子を含む

#### 【ツーリング版】

暑い中での実施となったが、参加者は指導者の話をよく聞き、カヌーの操作方法やカヌーの乗り降りする方法などを確認し合う姿が見られた。午前中に行った平水でのカヌー体験では、操艇技術は参加者によってばらつきがあったが、最後の方ではスムーズに操艇することができるようになっていた。午後からは約5km ツーリングを行い、参加者は肱川の雄大な自然や臥龍山荘や

大洲城などの歴史的建造物を楽しみながらカヌーを体験していた。また、参加者同士で会話する姿も見られ、カヌー体験を通じてお互いに交流をすることができた。

#### 【平水版】

ツーリング版と同様に、参加者は指導者の話をよく聞き、親子で協力しながら活動を行うことができた。活動の前半で基本的な操艇方法を習得し、後半でミニツーリングを行った。ミニツーリングのゴール地点では、子供同士でカヌーを隣り合わせてサークルを作るなどして、集団でのカヌーの楽しみ方も体験した。



#### 【全体を通して】

運営に当たっては、全体の進行は国立大洲青少年交流の家の職員が担ったが、学生を中心とするボランティアや大洲市カヌー協会の協力を得て陸上看視や水上看視、指導を行っていただき、安全管理についても万全の体制を整えて実施した。

また、開会式での挨拶などを通してカヌーの活動に関連付けながら、子供たちの健全育成に必要な体験活動の重要性、早寝や早起きをする事、朝食を食べることなど生活習慣を整えることの大切さを参加者に伝え、それらの意義の周知を図った。



## 8 参加者の声

事業後アンケート結果

【ツーリング版】(家族：25組) ※1組未回答

\*満足：88.0%    \*やや満足：12.0%    \*やや不満：0.0%    \*不満：0.0%

○景色が美しかった。

○見守りがしっかりされていて、安心して参加できた。

【平水版】(家族：41組)

\*満足：85.5%    \*やや満足：12.1%    \*やや不満：2.4%    \*不満：0.0%

○子供の成長を感じられた。

○親子2人でゆっくり会話することができとてもよかった。

親子での参加ということで、子供たちだけでなく保護者も一緒になってカヌーを楽しみ、子供の生き生きとした姿や頑張っている姿から野外活動や体験活動の良さや大切さを実感していただいたようだった。また、ツーリング版でも平水版でも親子で会話を楽しむ様子が見られ、親子でコミュニケーションを取るよい機会となっていた。

## 9 事業の成果と課題

地域の自然環境や人材資源を生かした事業を行うことで、子供だけでなく大人も自然や体験活動そのものへの興味関心を高めることができた。また、運営方法を工夫することで、参加者の満足度が高いまま、経費と職員の負担感を減らすことができた。

ツーリング版への参加者は終日の参加ということで、最近の猛暑を考慮し、熱中症への配慮を十分しなければならない。また、応募段階から当日の運営までの間に、参加者からの問い合わせが多くあった。参加者が安心して参加できるように、より分かりやすい案内や説明をする必要があると感じた。

(担当：企画指導専門職 岡本 和也)